

● コロナ感染対策実施要領

<大会前>

1. 事前準備

- ① 各チームは、必ず「感染対策責任者」を2名以上報告すること。
(別紙の「チーム登録申請書」「市民総合スポーツ大会 兼 秋季市民バスケットボール大会参加申請書」に記載)
試合の時には必ず「感染対策責任者」が帯同すること。
「感染対策責任者」は、『当日提出用紙』と選手及び全てのチーム関係者の『健康チェックシート』を準備すること。(大会当日、まとめて本部に提出)
- ② 帯同審判員は、飛沫対策として、ホイッスルにカバーを取り付けること。または電子ホイッスルも可とする。
(電子ホイッスルを使用する場合はマスクを着用)
- ③ T.Oに入る際の黒色・赤色のペンは、各チームで持参し使用すること。

<大会当日>

1. 会場入り

- ① 会場へはユニフォームに着替えて入場し、更衣室は使用しないこと。
- ② チームの会場入りは、試合開始予定時刻の1時間前とする。(詳細は組み合わせ表参照)
- ③ チーム関係者全員が揃った状態での会場入りを基本とする。(個別の会場入りは控える)
※仕事の事情等によりやむを得ず同じ時間に集合できない関係者がいる場合は、事前に本部に申し出ること。
- ④ 会場入り口で、チームの『当日提出用紙』及びチーム関係者全員の『健康チェックシート』を提出し、検温担当者による検温・記録を受けた後、入場すること。
※検温で37.5℃以上の発熱がある場合、入場をお断りします。
遅れてくる関係者がいる場合は、感染対策責任者が会場入口に待機し、検温・記録を受けた後、入場すること。
- ⑤ 入場時、備え付けの消毒液で、手指の消毒を行うこと。
- ⑥ 入場時は、他のチーム関係者と接しないよう、特に入口付近では注意すること。
- ⑦ 会場内では、基本的に常時マスクを着用すること。(試合中のコート内プレイヤーは除く)
- ⑧ 前の試合のハーフタイムでのアップは実施しない。

2. 試合前～試合中

- ① 前の試合後のベンチの消毒が終了してから、ベンチに入ること。
(終了していない場合は、コート脇で待機)
- ② 試合前のアップ中は、プレイヤーもできるだけマスクを着用すること。
- ③ 試合時間中、コート内のプレイヤー以外の関係者は、マスクを着用すること。
- ④ ベンチではできるだけ会話を避け、コーチからの大きな声での指示等は控えること。
- ⑤ 試合終了後の、T.Oや相手ベンチへの挨拶は実施しない。

3. 試合終了後

- ① 試合終了後、チーム関係者は速やかにベンチを空けること。
- ② チームの感染対策責任者は、備え付けの消毒液でベンチを消毒すること。
- ③ 試合が終了したチームは、速やかに会場から退場すること。
- ④ 更衣室を使用する場合は、密にならないよう、短時間で済ませること。

4. その他

- ① 大会は、無観客開催とする。家族や友知人の入場は控えること。
- ② チームで出したゴミは、責任をもって持ち帰ること。
- ③ 試合後2週間以内に、感染症を発症した関係者がいる場合は、速やかに協会役員に電話連絡すること。
連絡先：伊勢崎市バスケットボール協会 一般部会長 中村 (090-4937-2747)
- ④ 感染対策実施要領を守らないチームについては、入場禁止や試合の没収・退場等の処置を講じます。
- ⑤ 大会開催前、開催期間中に群馬県または伊勢崎市の感染警戒レベルが4になった場合には、大会を中止することがあります。
- ⑥ 参加チームに感染者が出たことによる試合直前のキャンセルや、大会が途中で中止となる場合があります。